

# 健康友の会みみはら第32回総代会議案

※紙面の都合上、まとめの部分は省略させていただいています。

## 1号議案

## 2019年度 友の会活動方針

### 2019年度 重点課題

みみはらグループの連携で安心して住みつつげられるまちづくりを

- 支部と職員の連携で「お元気ですか」訪問活動を取り組もう
- 若い世代とのつながりを広め、担い手、後継者づくりを推進しよう
- 友の会と職員の双方向で事業活動や運動を前進させよう。
- 憲法を生かし、いのちと暮らし、平和と人権を守る運動を推進しよう
- 友の会の輪を広げ、2020年ビジョンの目標を達成しよう

### 地域まるごと健康づくり

- 健康づくり（ヘルスプロモーション）の活動では、職員と共同した、保健学校、健康講座や体力測定などを行なっています。
- アドバイザー養成講座（ウォーキング、転倒予防）は、より充実したものをめざして内容の見直しの検討を行います。
- 「健康チェック」は、地域での友の会の顔の見える活動です。多くの支部での実施を推進していきます。
- 「健診受診」は、堺市ではがん検診の無料2年目に入ります。今年度は、誕生日月健診、支部別健診に加えて、無料がん検診を進めます。特に大腸がん検診については15,000件をめざします。
- 健康チャレンジは、支部、事業所での取り組みを強め、より多くの参加をめざします。

### ふれあい・支えあいのまちづくり

- 今年度は、友の会お元気ですか訪問を取り組み、必要な方には、無料低額診療事業、事業所利用や友の会活動の紹介を行います。
- たまり場・センターに地域の人が気軽に足が運べるように、月～土曜日の開所をめざして協力者を広げていきます。
- 助け合いでは、介護事業所や自治会などと連携し、助け合いのネットワークを強化します。そこで、実情に合わせて、ふれあい支えあい委員会の機能のあり方を検討します。
- ブロック、支部での「ワンコイン助っ人隊」の地域コーディネーターの養成と助け合いの窓口設置をめざします。今年度より、『NPO法人結いの会ともうず』で有償福祉運送事業「おでかけ助っ人隊」を開始しました。

### 「とも」の配布と内容充実

- 紙面の向上に向けて、ブロックでの編集委員の選出や支部での取材協力者づくりをめざします。
- お便りやクイズの応募の方法（メールやファックスなど）の検討を行います。
- 配達者懇親会を開催して、配達者の交流を通じてネットワークづくりをめざします。

### ブロック・支部・班づくり

- ブロック・支部を中心とした組織運営をさらに強め、地域要求に根差した運営方針（行政との懇談・子ども支援・居場所づくり、助け合い事業など）を進めます。
- 事務局の地域専任配置を補充し、担当者の力量の向上に努めます。また、会員が、ブロック・支部の主体となる体制づくりをめざします。
- 支部は、地域の困難な方への相談窓口になれるように努めます。

- 支部づくりは、2,000世帯を超える支部の分割をめざします。今年度は、安井校区の支部づくりに向けて着手します。
- 班活動は、たまり場に加え、集会場や会員宅での班会を開催して、若い世代の参加も含めて2,000回の開催をめざします。

### 友の会の輪を広げる取り組み

- 3,000人の仲間増やしにチャレンジします。
- 担い手増やしでは、子育て世代のつながりを広め、担い手と後継者づくりをめざします。
- 協同基金は、年間目標を9,500件、25,000万円とします。小口多数を進め、毎月の積立基金の協力者を増やします。職員は、常勤者の50%の協力者をめざし、患者、利用者への働きかけを強めます。
- いつでも元気は、各支部や職場での読者会など活用の工夫を行い1,300部の普及をめざします。常勤職員の購読50%以上をめざします。
- 共同組織拡大強化月間（10月～11月）に向けて、8月31日（土）に「2019年南ブロック秋の強化月間スタートダッシュ！私たちにできることは？」まちづくり学習会を開催します。

### 社会保障・平和・まちづくり

- 「3000万人全国統一署名」の目標達成に向けて運動を更に広げます。辺野古新基地反対、米軍基地撤去の運動の取り組みを強化します。
- 平和行進、原水禁世界大会に向けて、ヒバクシャ署名の取り組みを広げます。
- 原発ゼロ自然エネルギーへの転換をめざす運動を進めます
- 消費税10%やカジノ、統一国保問題等、私たちの暮らしに直結する悪法に反対し、貧困と格差、子どもの貧困、高齢者支援へ取り組みます。
- 社保協に結集し、地域や職場の具体事例を持ってキャラバン行動にのぞみ、社会保障充実に向け取り組みます。
- 南海トラフ地震に備え、支部での防災についての取り組みや「災害に強いまちづくり」に取り組むとともに、引き続き震災復興支援を行います。

### 共同の営み

- 12月8日（日）の「大阪民医連共同組織活動交流集会」に、会員、職員が積極的に参加し他組織の経験を学びます。
- 法人の院所利用委員会の立ち上げと、すべての事業所で院所利用委員会の定期開催をめざします。
- 地域住民の要求にこたえるため、グループの事業所づくりや運営を強化し、それを担う職員育成にも関わっていきます。
- 友の会の事業活動の参加や職員の友の会のかかわりをつよめ双方向での前進をめざします。
- 支部での無料低額診療事業の紹介を行なうとともに、「いのちの募金」の取り組みを引き続き進めます。